

にぎわ い通信



九州からは唐津港で開催されました、「第5回唐津みなと松原植樹祭」、「2011年海のカレンダー」と海岸に打ち寄せられる漂着物について、ご紹介させていただきます。

唐津港

「第5回唐津みなと松原植樹祭」開催！植樹松苗3,900本に！

平成23年2月20日（日）、未来の唐津港を彩る緑の帯づくりへ向けて「第5回唐津みなと松原植樹祭」が開催され、300名の募集人員に対し400名を超える方々が参加されました。

平成19年に始まり、5回目を迎えた植樹祭は、今回500本の抵抗性黒松苗を植樹していただき、植樹松苗の合計は3,900本となり、緑の帯の実現にまた一歩近づきました。

土の感触を味わいながら一本ずつ丁寧に植えていく初参加の子供たちや、4年前に植樹した松苗の成長を確かめつつ新たな一本を植える人生のベテランたち。



参加者による全員集合写真！！

松苗の成長もうれしいのですが、さらにうれしいのは参加される皆さんの成長（?）です。子供たちの発育はもちろんのことですが、5回目の開催といえど、初心者も多いはずの植樹祭なのに、回を重ねるごとに植樹に対する意欲が皆さん旺盛で、驚くほど見事な手際で植樹されます。



寒さに負けず、回を重ねる毎に見事な手際で植樹が行われます！！

さらに、引き続き行われるイベントから最後の片付けに至るまで、相互の協力のもとにリズム良く進行し、寒さを吹き飛ばす歓声や笑顔が満ちあふれていました。

すばらしい植樹の輪が、広がりつつあることを実感することができました。

「次はいつ？どこに？何本？」皆さんの期待に応えるべく、主催者の唐津みなとまちづくり懇話会の活動が続けられています。



1本1本丁寧に植樹しました！！



ちびっこも土の感触を確かめながら！！



地元から植樹の御礼に振る舞われました！！

植樹祭が開催される「みなと松原」は、唐津東港「みなとオアシスからつ」

のシンボル緑地でもあります。

このシンボル緑地には、昨年、トロッコ列車が登場しました。

昭和の初め頃、石炭の積み出し港として栄えた唐津港には、当時、内陸から港へ石炭を運ぶ列車が運行されていましたが、その線路が復活したのです。

復活した線路の敷石は、熊本市の路面電車で実際に使われていた国産の御影石を、そして、レールは廃線となった高千穂鉄道で使われていたレールを、それぞれお譲りいただいたものです。



敷石や線路やトロッコの物語が結集！！

さらに、立派な線路の復活に伴って、トロッコ列車を走らせようという声が上がリ、新たな賑わいづくりに共感いただいた大勢の方から製作・運行のための資金が寄せられました。

そして、ついにトロッコ列車が完成し、お披露目式では地元の保育園児らが乗り込み、はじける笑顔で初運行を祝ってくれました。



初運行のトロッコ列車に保育園児が乗車！

これらたくさんの物語が結集した「みなと松原」は、思い出と希望と安らぎに満ちた、みなとまち唐津の新しい名所として活躍が期待されています。

「2011年海のカレンダー」今年も完成！からつの“浜”で遊ぼうよ！

毎年、唐津里浜づくり推進協議会が発行する海の行事を集約したカレンダーが今年も完成しました。

唐津の宝「浜辺」では毎年いろいろなイベントが行われています。

唐津里浜づくり推進協議会は、「里浜づくり」という共通テーマのもと、西の浜一帯を舞台に開催されている各イベント等が、団体・企業の垣根を越えて協力・連携をすることで唐津のみなとや浜の賑わいづくりを推進することを目的に、平成16年10月に設立された団体です。



今年も完成！海のカレンダー！！

海のカレンダーは、海辺が身近なふれあいの場であり、みんなの里浜であることを伝えたいという取り組みのひとつとして作成されました。

早速、4月23日（土）に遊歩道砂除去清掃活動が西の浜一帯で実施され、呼び掛けに賛同された団体・企業・個人、あわせて約100名の皆さんが人力を惜しみなく提供しあい、風という自然の力で遊歩道に積みあがった浜砂を西の浜に戻しました。

機械での作業が困難なポイントに、一冬かけて積もり積もった浜砂ですが、ボランティア精神のスクラムの前に、二時間ほどできれいさっぱり除去されました。

作業後は痛々しく腰をかばいながらも「今年も里浜の季節が始まったねっ！」と爽やかな笑顔とともに声を掛け合う姿が印象的でした。

翌日に開催された海・浜開き式は、そんな皆さんのおかげで、晴れやかで清々しく執り行われ、感謝の気持ちにつまれていました。

まちとみなと、そしてひとと一緒に育つ海辺都市・唐津の取り組みには、たくさんの想いが込められ、みなとまち唐津ならではの愛情が詰まっています。



一冬かけて積もった砂をみんなで除去！！



機械では除去が困難なところは人力で除去！！



海岸に打ち寄せられる漂着物について

県から「海岸漂着物等に関する巡視・回収業務」の委託を受けた唐津里浜づくり推進協議会が、平成22年度において8月から月2回、西の浜・東の浜で活動した結果をお知らせします。

合計16回の活動で、229kgの漂着物が回収されました。

ペットボトルやガラス瓶、プラスチック製品などが主に漂着していましたが、タイヤや木材などの大物もあり、また通称100円ライターの漂着の多さが目につきました。



最近増えてきた海外製品の漂着ゴミたち